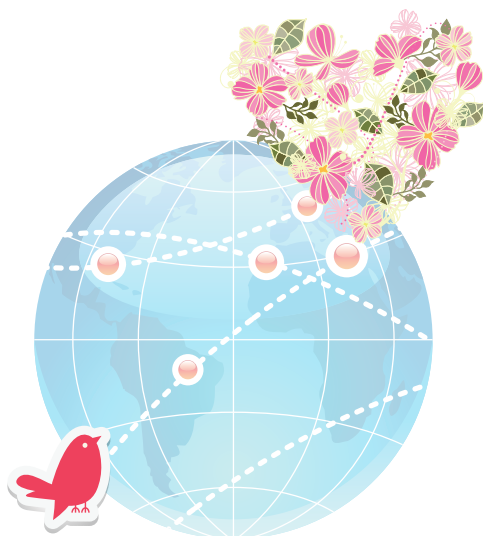


第30回国際平和ポスター・コンテスト ～335-B地区入賞作品展のご案内～

本年度も外部に対するPRを積極的に実施して
いこうということで、下記日程に於いて335-B地区
入賞作品展を開催することとなりました。

尚、この作品展では2R・3Rの入賞作品も併せて
展示致します。

各入賞作品を描かれました児童並びに保護者の
方々にはスポンサークラブよりご案内頂きますよう
お願い致します。



◆日 程:2018年2月17日～20日
◆場 所:なんばウォーク「くじらパーク」
↓↓場所の詳細はこちらのURLをご覧ください。
http://walk.osaka-chikagai.jp/floor_guide/?floor=2

◆MC各種コンテスト応募のお願い◆

①外部向けPRコンテスト

★応募対象資料

- A:各クラブが行なった奉仕活動が新聞やテレビ、
及び公共機関等の広報誌などに取り上げられたもの
(記事の切り抜き・放送時の写真・説明など)
- B:各クラブが奉仕活動を行なう際に
外部向けにPRするために発刊したもの
(チラシや印刷物など)



★対象期間:2017年3月1日～2018年2月28日

②クラブアクティビティフォトコンテスト

★応募対象作品:各クラブが行なった奉仕活動の写真で外部から見ても奉仕の状況・内容が理解できるもの
(クラブのジャンパーを着て、アクティビティをしている写真など。(集合写真を除く。))

★対象期間:2017年3月1日～2018年2月28日に撮影されたもの

応募締め切りは**3月2日(金)**です。どしどしご応募下さい。

お詫びと訂正 2017年8月31日発行の255号で誤りがありました。お詫びして訂正致します。
P22 各クラブ周年行事一覧 八尾うぐいすLC CN15周年の日程 誤) 4/25(水)→正) 4/27(金)

編・集・後・記

地区マーケティング・コミュニケーション委員 吉永 さとみ

今年度、地区MC委員として活動させて頂くにあたって
色々なライオンズクラブを学ぶ機会を得られることになり
ました。会議・セミナー・アクティビティ・例会など、様々な
シーンでたくさんの方々のご協力のもとに成り立っており、
その上での奉仕活動が出来る事に改めて感謝の気持ちを持
てました。MC委員だからこそ経験させて頂ける事なので、
取材や編集を丁寧にしない、皆さまに楽しんでご覧頂ける
「ゆうあい」をこれからも作って参ります!!

発行者:地区ガバナー 柿原 勝彦
発行:ライオンズクラブ国際協会
335-B地区マーケティング・コミュニケーション委員会
編集者:委員長/児玉 和久
委員/徳村 初美・風間 正信・田中 秀明・廣瀬 弘二
吉永 さとみ・伊集院 峰子・杉本 光傑・池田 博子
片桐 章浩・櫻田 総一郎・金子 直樹・西森 稔彦
事務局:〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-4-8 瓦町4丁目ビル2F
TEL:06-6222-7331 FAX:06-6222-7336
ホームページ <http://www.lc335b.gr.jp/>

ゆうあい

NO.256

2018.1.1

LIONS CLUB INTERNATIONAL
DISTRICT 335-B
OFFICIAL PUBLICATION

ライオンズクラブ国際協会
335-B地区広報誌



茨木LC CN55周年記念式典 書道家:青柳美扇

地区ガバナー公式訪問

【特集】私のクラブ ◆大阪マザーLC ◆大阪桜之宮LC
◆大阪福島LC ◆大阪帝陵LC

ライオンズクラブ国際協会335-B地区 第64回年次大会のご案内



今大会は「愛」をテーマに、
335-B地区メンバーが情熱を注がれた
1年間の奉仕活動を讃え、
友と楽しい時を過ごせる大会を
企画しております。
是非、今大会を例会振替として
ご参加下さい。

**多くのメンバーの皆様のご登録を
お願い申し上げます。**

2018年 4月15日(日)

代議員会 大阪国際会議場10F 登録・投票 11:30~12:50 総会 13:00~14:00	大会式典 大阪国際会議場5F 登録受付 13:30~14:30 式典 14:30~17:30	地区ガバナー晩餐会 リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間 祝宴 18:00~20:00
--	--	---

第64回年次大会へのご参加は例会振替で…!!

登録締め切り日: 2018年2月16日(金)

※ご登録方法についてはCAB通達事項をご覧ください。

ご案内しておりました山田寛紘元国際会長の講演は都合により無くなりました…。



新年のご挨拶

地区ガバナー 柿原 勝彦

新年あけましておめでとうございます
335-B地区メンバー各位に於かれましてはご家族
皆様お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと心から
お慶び申し上げます。

さて、ライオンズクラブ国際協会が1917年にアメリカ・イリノイ州シカゴに誕生して100周年という
大きな節目を迎え、国際協会では次なる100年のためのグローバル戦略として全世界に於いての
「LCIフォーワード」としての取り組みが採択されています。

新たな戦略を進める上で、まず各クラブに於いてはクラブ役員、クラブ理事会の構成の改定と
クラブ運営についても今までの概念から一歩進んだ運営の在り方をそれぞれのクラブが検証する
ようになっています。詳しくは昨年12月11日に開催させて頂いた「各クラブ会則研修会」に於いて
説明をさせて頂いておりますが「必携第57版」を熟読頂ければと思います。

「LCIフォーワード」は世界で高まり続けるニーズに応え、人道的奉仕活動として
年間の奉仕受益者の数を現在の3倍に2021年までに達成することを目指し、

4つの主要分野として

- ① 奉仕のインパクトと焦点を強化する。
- ② 社会イメージを再形成しライオンズの知名度を高める。
- ③ クラブ・地区・組織の向上を目指す。
- ④ 会員の価値を向上させ新たなマーケットに働きかける。

これらの事を具体的に進めるにはLCIフォーワードとして掲げ挙げられている5つの奉仕分野を
各地域に似合った奉仕活動として目標計画を立て、目標に向けて長期・短期の優先順も決めチーム
を組み全クラブメンバーが関与して、検討し更に家族や地域の人達、若い人達にも参加を促し他団体
とも連携を取り、クラブメンバーだけの域を超え開かれた社会奉仕活動が共に出来る取り組みが
図れば、新世紀にふさわしい奉仕の階を登れるのではないのでしょうか…。

正に「明治維新」で大きく時代の流れが変わったように我々ライオンズクラブも大きな変革の
年を迎えることになりました。

メンバー各位に於かれましては We Serve の精神のもと、今年もご健勝でより一層の情熱と熱意
をもって社会奉仕にご尽力賜りますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



**“すべてに「愛」をもって
We Serve”**

第2回キャビネット会議

地区マーケティング・コミュニケーション委員長 児玉 和久

- 11月13日、ホテルグランヴィア和歌山にて第2回キャビネット会議が開催されました。亀井元国際理事のご挨拶では
- ①日本が東洋東南アジアのリーダーとして世界的にクローズアップされてきたこと。
 - ②国際協会が公認する「OSEAL事務所」が日本に設置することが決まり、各国から注目されているので、日本最大の地区である335-B地区としても誇りをもつべきであること。
 - ③会員が著しく減少しているの、メンバーへ危機感をもってクラブ発展へ協力して頂くこと。

をお話しされました。

アワードの伝達では、ボブ・コーリユ前国際会長より川野前地区ガバナーへ地区ガバナー感謝状、中村2015～2016年度地区ガバナーへ枚方シニアLCを結成されたことへの地区ガバナーエクステンション賞が贈られました。



議事では、第43回ライオンズ慰霊祭予算が承認され、第64回地区年次大会の議事規則並びに組織について、ライフジャケット推進事業について継続していくことの説明がありました。

その後、各エリアリーダー、335複合地区コーディネーター並びに委員長、GST地区コーディネーター、リジョン・チェアパーソン、各種委員会より活動状況の報告がありました。西尾GMT委員長からは10月末現在の入会累計が216名、退会累計が84名、純増数が132名で厳しいながらも全リジョンが会員増強に取り組まれていること、会員増強特別チームの設置で引き続き取り組んで頂きたいとのお願いがありました。

会議終了後は懇親会が和やかに行なわれました。



335複合地区FWTフォーラム「We Serveを次代へ!!!」

地区マーケティング・コミュニケーション委員 伊集院 峰子

10月6日、ホテル日航大阪にて335複合地区FWTフォーラムが開催されました。笹部335複合地区FWTコーディネーターからの開会の挨拶の後、長澤FWT日本エリアリーダーの講演が始まりました。

講演内容は

* 女性会員がなぜ必要なのか？

- 「より多い会員」＝「より多い奉仕活動の担い手」
- 「女性ボランティア精神旺盛、女性特有の思いやり」
- 「子どもや高齢者、社会的弱者など奉仕対象のニーズをくみ取ることが出来る」
- 「女性ならではの異なる視点、新しい視点」

* FWTの目的は？

「家族会員と女性会員の増強」「女性リーダーの育成」「優れた奉仕活動の発掘と拡大」で、まさにテーマ「We Serveを次世代へ!!!」のもと、ご理解とご協力をお願いされました。

また、元巨人軍の長嶋茂雄さんが引退の時に言われた「私は今日巨人軍を引退致しますが、我が巨人軍は永久に不滅です。」この言葉はライオンズクラブも同じである。理想のクラブづくりに頑張りましょう。「我がライオンズクラブは永久に不滅です。」と熱い思いを語られました。

講演後、炭坑節の音楽でボケる・ボケんと音頭を踊り、雰囲気を変え支部事例発表を大阪梅田中央LC菜の花支部の松木支部会長、竹ノ内支部幹事が発表されました。これが絶賛！素晴らしい事例発表でした。大阪梅田中央LCは、心強い素敵な支部メンバーを獲得されたなあと感じました。

人生、生きている限りは日々勉強です！皆様ぜひ、様々なフォーラム等がございましたら挙ってご参加をお願い致します。

「私のクラブ」を素敵な楽しいクラブに育てて参りましょう。



各クラブ献血・糖尿病教育研修会

地区マーケティング・コミュニケーション委員 片桐 章浩

9月25日、各クラブ献血・糖尿病教育研修会が開催されました。

第1部は献血の必要性について「NPO法人血液情報広場つばさ」の後藤千英理事の講演を聞かせて頂きました。

後藤さんは血液のがんを宣告され、闘病生活の末、それを克服した方で、闘病中は週に1回、400mlの輸血を受けていたそうです。月に換算すると1,200mlの輸血を受けていたことになり、輸血は献血者がいるから受けられるもので、血液の病気の人にとって輸血は命に関わるのだと献血のありがたさを伝えて下さいました。

血液のがんを克服した彼女が思うことは、「日常に当たり前のことなどない」「食事、友人との時間、講演する時間など、毎日が奇跡の連続」だそうです。生きていることは奇跡の連続で、当たり前のことではないので、私達がやるべきことは生きていることに感謝し、与えられた奇跡の命を社会貢献に活かすことだと思います。

第2部は糖尿病についての講演で、講師は関西電力病院総長の清野裕先生でした。

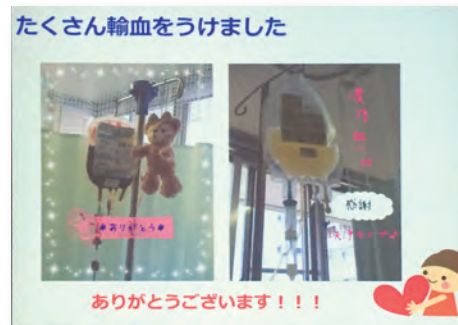
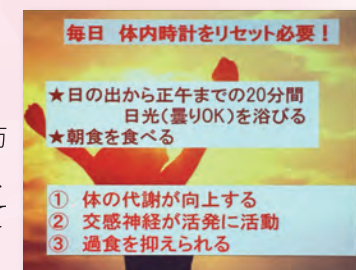
『糖尿病について』と『予防するためにすべきこと』など、参加者に分かりやすく説明して下さいました。

講演では、日常生活の改善が糖尿病防止につながるためのヒントが散りばめられていました。糖尿病予防と治療に必要なことは次の通りです。

- ①無理をしないで楽しく続けられること。
- ②笑い、喜び、感動、早起きによって良い遺伝子を目覚めさせること。
- ③健康に良い「うまみ」を持った食事と食事の食べる順番を変えることで血糖値の上昇を抑えること。

適切でない食事習慣や運動量の減少によって、誰でも糖尿病になるリスクが潜んでいます。今回の研修会で得た知識を日常生活で活かし、健康で明るいライオンズライフを楽しみたいと思います。

各クラブにおいては研修会出席会員から伝達を受けて下さい。きっと毎日の生活に役立つ情報を得ることができます。



2017～2018年度 335-B地区内行事(周年行事を含む)のプロトコールに関する申し合わせ

(335-B地区内に在籍する役職名のみ記載)

- ①元国際理事
- ②地区ガバナー
- ③城阪GLT日本エリアリーダー
- ④GST/FWT西日本エリアリーダー
- ⑤元協議会議長
- ⑥335複合地区コーディネーター
- ⑦前地区ガバナー
- ⑧第1副地区ガバナー
- ⑨第2副地区ガバナー
- ⑩複合地区の各委員会委員長
- ⑪元地区ガバナー(その役職を務めた年度の古い順)
- ⑫地区幹事
- ⑬地区会計
- ⑭地区コーディネーター
- ⑮リジョン・チェアパーソン
- ⑯ゾーン・チェアパーソン
- ⑰【複合地区の各委員会委員】
- ⑱地区の各委員会委員長
- ⑲【地区の各委員会委員】

- 335-B地区では【複合地区の各委員会委員】【地区の各委員会委員】は左記とする。
 - 地区内行事については、複合・地区を兼務されている場合、地区の役職名を優先し複合地区の役職を省略することができる。その場合は、複合役職の順位は考慮せず、地区のプロトコール順(各種委員長の順番等)にする。
 - 複合地区の委員長または委員のみの役職の場合の順位は、複合地区のプロトコール順にする。
 - 複合地区並びに335-B地区コーディネーターの順位は以下とする。但し、2つ以上の役職がある場合は、プロトコールの高い役職を優先する。
- ※2017～2018年度第1回複合地区ガバナー協議会議長会議(2017.7.11)で日本でのコーディネーターの順位の表記を統一することが申し合わされた。
- GSTコーディネーター
 - GLTコーディネーター
 - GMTコーディネーター
 - FWTコーディネーター
 - LCIFコーディネーター
 - 100周年記念コーディネーター

次世代リーダー育成セミナー

第6期生 第5回 8月25日

今年度、第6期生は2年目に入り、8月25日に第5回セミナーが開催されました。

30名を超える受講生が出席し、柿原地区ガバナー、吉村第1副地区ガバナーの挨拶から、菅元地区ガバナー・名誉顧問の講話と続きました。

セミナー「ライオンズクラブ新世紀」では、坂口クラブ活性サポート委員長による「ライオンズクラブの未来のために」、西尾GMT委員長による「なぜ会員増強なのか」の講義があり、地区ガバナースローガンである「すべてに「愛」をもって We Serve」の精神のもと、メンバーの増強を図り、セミナー受講生がリーダーとして活躍することを求める内容のものでした。西尾委員長も坂口委員長も第1期の卒講生であり、後輩への期待を込めたお話しでした。

その後、参加者のディスカッションと西村GLT地区コーディネーターからまとめがありました。最後は、田中第2副地区ガバナーより挨拶があり閉会しました。

地区マーケティング・コミュニケーション委員
徳村 初美



第7期生 第1回 9月11日

9月11日、ホテル日航大阪において、地区役員9名、受講者27名の参加で開催されました。

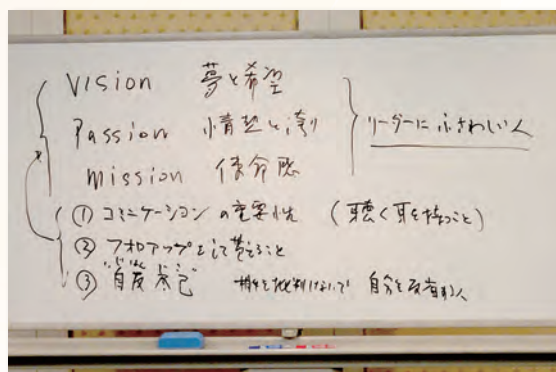
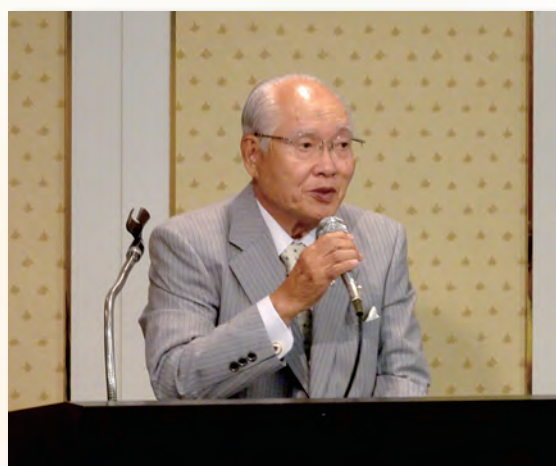
冒頭、柿原地区ガバナーがこのセミナーについての充実度と重要性について話され、菅元地区ガバナー・名誉顧問からは「ビジョン・夢と希望」「パッション・情熱と誇り」「ミッション・使命感」を持つことがリーダーとしてふさわしいとのお話がありました。

次に吉村第1副地区ガバナーはセミナーの大事なこととして「ライオンズクラブの知識と技能を磨く」「人の話を2倍聞く」「愛の精神を高めること」を挙げられました。

セミナーは「スピーチ力を磨く」と題して西村GLT地区コーディネーターから講義がありました。スピーチはまずアウトライン(冒頭部・主部・結び)を作成し、印象に残るための話し方のポイントとして「目の動きと視線」「声の使い方」「身振り」「言葉」「服装と外見」について細かくテクニック等のアドバイスがありました。

続いて受講者達はこの講義の内容を参考に、1人当たり2分間の自己紹介をしました。アドバイスを聞いて、急にスピーチが上手くなるわけではないですが、有意義な経験になったことと思います。

地区マーケティング・コミュニケーション委員
田中 秀明



第7期生 紹介

2年間よろしくお願ひします。



L安藤 和子
男性ばかりの団体かと思っていた。気安く参加できるようにしたい。



L齋藤 隆志
緊張するほうなので、こういった機会を通じて慣れていきたいです。



L松浦 友泰
名古屋ニューセンチュリーLCとの交流で奥さんと知り合いました。



L中田 浩二
若さを活かしたアクティビティをどんどん行なっていきたい。



L田積 司
聞き上手の弁護士です。仕事同様に皆さんとコミュニケーションをとっていききたい。



L松秋 峰康
趣味は山登りです。セミナーで得たことをクラブに持ち帰ります。



L東川 剛
クラブ会計の大役を仰せつかり、更に精進していききたいです。



L金川 佳永
美味しい食事ができて、歌が歌えるということで誘われました。



L江端 宏哲
セミナーは人前で話しをする良い機会です。健康管理しながら頑張ります。



L笹川 幹博
教育は「今日行く」ところ、教養は「今日用」があるところ、それはこのセミナーです。



L陸田 慶昇
最初入会したクラブを解散させるという経験をして2つ目のクラブに在籍しています。



L山本 達雄
CN54周年を迎えるクラシックライオンズクラブの現役の会長です。



L深井 学
大学の講師をしています。学生相手に話すにあたり、このセミナーは勉強になります。



L田和 秀樹
ボランティアを通じ、子ども達やお年寄りの笑顔が見れる、友人を作ることが大事です。



L吉本 和昭
不動産業ですが健全な経営をしてライオンズライフに活かしていきたいです。



L土畑 純子
小学生の時、お茶の先生とライオンズクラブのクリスマスに参加したのが最初です。



L川北 修義
お金を使うだけではなく、身体で持って奉仕したい。



L森田 幸宏
百舌鳥古墳群が世界遺産になったら我がクラブで話題を独占できるように協力をお願いします。



L神子 久
「ライオンズマンション」に間違われたい。しっかり活動していきたい。



L中村 隆志
初めてのことなので、緊張しています。



L坂本 泰規
入会して2年目でまだまだ勉強中ですが、よろしくお願ひ致します。



L新堂 泰久
父親の勧めで友達作りのために入会しました。奉仕の精神がだんだんかかってきました。



L山本 岳史
参加される皆様から刺激を頂ければと思っています。



L作嶋 宏之
すぐに辞めようと思ったが、役職を経験するようになり友達も増えた。



L今田 潔
2番目に速い御坊からです。セミナーが2年間あるとは知らずに参加しました。



L小森 正剛
時間は作るものだと思います。時間を作ってボランティア頑張ります。



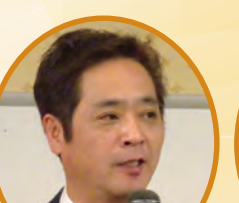
L佐藤 嘉昭
ラグビーで有名な東大阪です。セミナーの成果を持ち帰り若い人を勧誘したいです。



L菅尾 眞一
新しいクラブなので、周りに認めてもらうために新会員をたくさん入れてきました。



L井戸 幹夫
見た目が怖がられるので、自分から笑顔でもって話す努力をしています。



L今村 雄二
河内音頭でギネスに挑戦し、2,872人の踊りで世界記録を達成しました。



L竹井 智子
元アナウンサーです。女性クラブのチャーターメンバーとして12年間苦労しました。

地区ガバナー公式訪問

8月8日 4R1Z

8月8日に地区ガバナー公式訪問の初日にキャビネット三役をお迎えしました。

クラブ三役懇談会では柿原地区ガバナー、奥本キャビネット幹事、井出キャビネット会計から5クラブの会長・幹事・会計に丁寧な指導を頂きました。事前の各クラブへの「質問書」の回答内容を良く読んでおられ、それ以上に各クラブ会長の本音を引き出されていました。緊張感はありましたが、今年度最初の公式訪問とは思えないほど適切な指導だったと思います。

その後、クラブ合同例会が始まり、昼食と懇談、テール・ツイスターの活躍、5名の新会員入会式など盛りだくさんのうちに定刻となり、最後は「また会う日まで」と閉会ゴングでお見送りとなりました。



9月13日 10R2Z

9月13日、那智勝浦町の国民休暇村で10R2Zの地区ガバナー公式訪問3クラブ合同例会が開催されました。10Rは大阪から遠いということもあり、キャビネット三役には毎年前泊で来て頂いています。

今年は、例会場でもある国民休暇村で宿泊して頂き、前夜はホストクラブである勝浦LCのお世話で宿泊先にて懇親会を行ない、楽しいひと時を過ごすことができました。翌日、柿原地区ガバナーは朝5時に起床して、海から昇るご来光をご覧になられたそうです。その後、勝浦LCの須川会長、L下地らの案内で日本最大の近海マグロの漁港である勝浦漁港の見学や那智大社への参拝をされて、会議に臨まれました。

クラブ三役懇談会では前夜とは打って変わり、地区ガバナーより思いのこもった方針の説明。キャビネット幹事及び会計からは、各クラブに対して真剣な質問が行なわれました。

更にサプライズで勝浦LCより2名、串本LCより1名の新会員に特別に地区ガバナーピンのプレゼントがありました。また勝浦LCは55年にして初めての女性会員ということで、着物用にとマグネットタイプのピンの贈呈等があり、その後も和やかに例会が進行致しました。



8月22日 3R1Z・2Z合同

3Rは合同で行ないました。



8月22日、スイスホテル南海大阪に於いて、3R合同での地区ガバナー公式訪問並びに合同例会が開催されました。

地区ガバナーはじめ地区役員の皆様のご負担軽減ということもあり、地区ガバナー公式訪問の回数を減らすために1Z・2Z合同で開催致しました。170名が一堂に会する大きな例会となり、国際会長が掲げておられる「THE POWER OF

WE [団結の力]」がまさに感じられる例会となりました。

ライオンズクラブ国際協会が100周年というターニングポイントを迎え、セカンドセンチュリーがまさにスタートするこの時、柿原地区ガバナーから「原点回帰」「新たな階を」そして「情熱」を各クラブに持ち帰り新たな発展に繋げてほしいという熱いメッセージを頂きました。

8月24日 6R2Z

8月24日、6R2Zの三役懇親会では6クラブのクラブ三役が地区ガバナー質問書の回答を述べられ、各クラブの現状をよく把握し未来をしっかりと見据えての意気込みが熱く伝わりました。

後の合同例会では、中村猛GST西日本エリアリーダー・元地区ガバナー・名誉顧問より「各メンバーが自クラブ会長を支え、一致団結してこの一年を楽しみながら頑張っていこう!」という熱いメッセージがありました。メンバー一同思いが伝わり、気の引き締まる思いと期待に胸が高鳴りました。



9月28日 7R3Z

9月28日、泉大津市のきらりリゾート閑空に於いて行なわれました。クラブ三役懇談会においては、21ゾーン目の公式訪問ということもあり、地区ガバナー自身慣れてきたのか、終始和やかなムードで進行しました。

その後の合同例会では、キャビネット三役、第2副地区ガバナーに対して、ご当地泉大津市で生産されているカシミア製のマフラーが記念品として贈呈されました。食事の後、テール・ツイスターが企画してくれた宝探しゲームを楽しみました。多くの女性メンバーが景品を獲得し、女性パワーに感心しました。

ライオンズクラブ活性化の1つのヒントかもしれません。女性に囲まれながら、柿原地区ガバナーも、もちろん景品をゲットしておられました。

全体的に、和やかに楽しく地区ガバナー公式訪問が行なわれ、地区ガバナーの人柄を感じる事ができる訪問となりました。



第30回国際平和ポスター・コンテスト

テーマ:「平和の未来」

335複合地区優秀賞
335-B地区最優秀賞



大阪プラムLC 大阪市立明治小学校
藪井 初音さん

335-B地区
優秀賞



島本LC 島本町立第三小学校
加藤 南花さん



枚方LC 枚方市立香陽小学校
前田 凜さん

335-B地区
佳作



大阪堂島LC
大阪市立豊崎東小学校
濱田 日和子さん



大阪淀川LC
大阪市立十三小学校
多田 羽衣音さん



大阪新大阪LC
大阪市立西中島小学校
原 望碧さん



大阪夕陽丘LC
大阪市立天王寺小学校
諸星 愛さん



大阪浪速LC
大阪市立栄小学校
新木 仁子さん



大阪帝陵LC
大阪市立丸山小学校
笠井 友彩さん



大阪コスモスLC
大阪市立阪南小学校
中辻 ゆりなさん



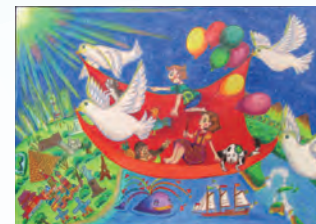
豊中LC
豊中市立東豊中
山田 晃哉さん



枚方中央LC 枚方市立樟葉西小学校
風間 ひなのさん



堺浜寺LC 堺市立浜寺小学校
岩本 風紗さん



東大阪D-SLC 東大阪市立弥刀東小学校
山口 学さん



東大阪D-SLC 東大阪市立弥刀東小学校
迫田 乃亜さん



豊中千里LC
豊中市立西丘小学校
丸山 さくらさん



箕面LC
箕面市立中小学校
目黒 鞠さん



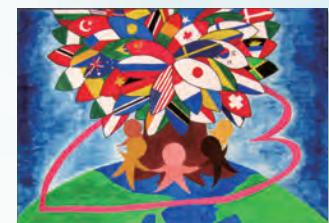
堺陵東LC
堺市立原山台小学校
和田 真幸さん



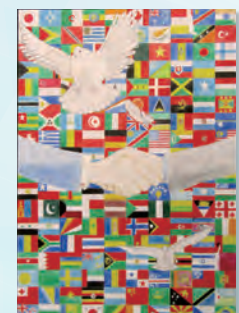
堺登美丘LC
堺市立登美丘西小学校
山本 夢伊奈さん



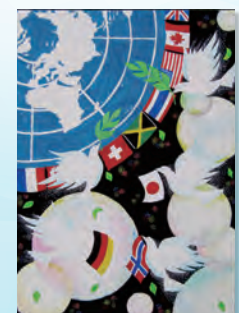
堺フェニックスLC
堺市立向丘小学校
松本 紗輝さん



大東LC 大東市立住道南小学校
長門 伶香さん



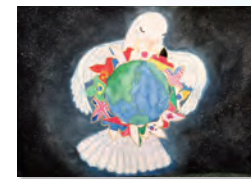
大阪銀橋LC
大阪市立高倉小学校
国本 歩大さん



高槻中央LC
高槻市立西大冠小学校
紫藤 裕希さん



高槻グリーンLC
高槻市立南平台小学校
角 奈奈実さん



泉大津LC
忠岡町立東忠岡小学校
大六野 海斗さん



岸和田中央LC
岸和田市立八木南小学校
大浦 萌々花さん



泉南中央LC
泉南市立新家小学校
岩本 玲奈さん



和歌山中央LC
和歌山市立太田小学校
杉原 愛理さん



海南LC
紀美野町立野上小学校
田淵 綾乃さん



寝屋川中央LC
寝屋川市立宇谷小学校
八木田 春花さん



堺仁徳LC
堺市立東浅香山小学校
中津 彩希さん



和泉中央LC
和泉市立南松尾はつが野学園
大塚 雅姫さん



堺美原LC
堺市立八上小学校
高橋 菜乃葉さん



南部LC
みなべ町立上南部小学校
森本 梗太郎さん



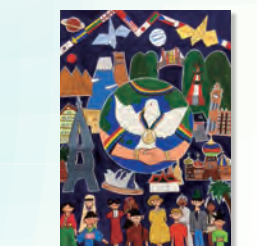
串本LC
串本町立古座小学校
浅利 大雅さん



東大阪南LC
東大阪市立若江小学校
高倉 芽唯さん



柏原LC
柏原市立堅下南小学校
佐渡山 美羽さん



藤井寺LC
藤井寺市立藤井寺小学校
利光 叶望さん

私のクラブ①

1R2Z 大阪マザーVBLC

インタビュアー 1R 徳村 初美



クラブ会長：L 稲別 郁子㊦
クラブ幹事：L 越智 まり㊦
クラブ会計：L 紙野 博美㊦

徳村：大阪マザーVBLCは、2012～2013年度の菅地区ガバナーの時に結成されましたね。

稲別会長：はい。2012年12月10日に結成会、2013年3月12日にチャーターナイトを行なった、まだ新しいクラブです。現在19名の会員で「自分たちの出来る社会奉仕」を目指して頑張っています。

徳村：メンバーの皆さんはママさんバレーボールチームに所属していると聞きました。

稲別会長：大阪府ママさんバレーボール連盟加盟のバレーボールチームは約500チームで、約8,000人の家庭婦人で構成されています。年齢構成は、一般のチームが約320あり、シニア(50歳以上)が約100チーム、ゴールド(60歳以上)が約50チーム、ダイヤモンド(70歳以上)が約20チームとなっています。

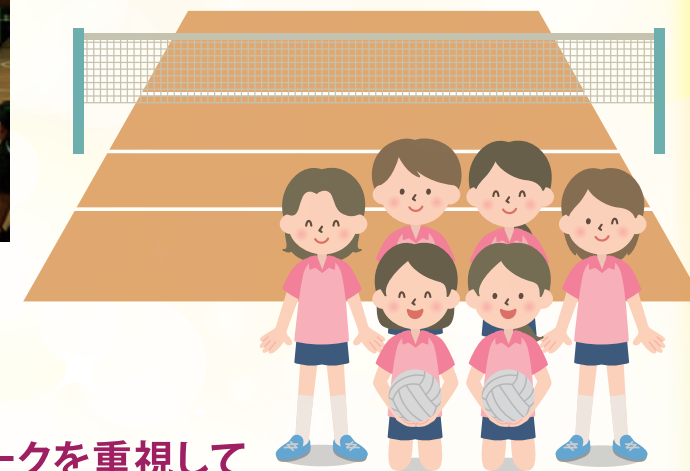
当クラブの会員は、ママさんバレーボール連盟の会員でもあります。ママさんバレーボールを楽しみながら自分たちの出来る社会奉仕として、アクティビティを継続して行なっています。

徳村：メンバーに共通の楽しみがあるのはクラブに和ができて、とてもいいですね。

稲別会長：ママさんバレーには、学生、企業などのチャンピオンスポーツとは違った“楽しむ”という要素があります。ママさんバレーの理念は、生涯スポーツそのものであり、ボールひとつで「輪(和)」ができる、「世代を超えたコミュニケーションスポーツ」といえます。ですので、その理念とライオンズの奉仕の理念が結びついて、ママさんバレー連盟の会員で構成されるライオンズクラブとして、発足したのが当クラブです。



小学校バレーボールチーム交流事業を行なっています



会長テーマ きずなを大切に チームワークを重視して

徳村：例会日等はどうされているのですか？

稲別会長：例会日や例会場所は特に決めておらず、バレーボールの試合や大会が例会となります。

徳村：特に力を入れているアクティビティを教えてください。

稲別会長：2つあります。1つは「献血奉仕と乳がん撲滅キャンペーン」です。

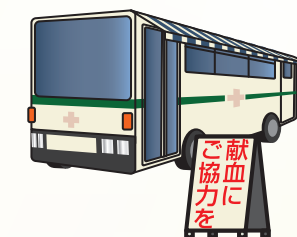
1年に2回、約500チームが集まるバレーボール大会の抽選会会場で行なっています。前年度は2016年9月29日に実施し、39名の献血者を集めました。今年度は2017年10月3日に実施しました。

もう1つは「年1回の青少年育成アクティビティ」です。

小学生対象のソフトバレーボール大会を実施しています。

その他にも、年間を通して、バレーボール大会を実施しています。

当クラブは、事業収入がゼロのクラブで、それが課題ですが、会費を大切にしながら、自分たちのできる労力奉仕に勤しんでいきたいと思っています。



主なアクティビティである献血活動

私のクラブ②

2R1Z 大阪桜之宮LC

インタビュアー 2R 風間 正信

クラブ会長：L 岩本 克己
 クラブ幹事：L 大山 広二郎
 クラブ会計：L 蔵本 倫大



風間：ライオンズクラブに対しての思いと自クラブの自慢、また自慢のアクティビティをお聞かせ下さい。

岩本会長：今年度、当クラブはCN40周年を迎えます。クラブの特徴としては、151名の多くのメンバーが在籍していますが、先輩メンバーと新しいメンバーの垣根もなく、アットホームなクラブだと思っています。

一番誇れることは、「何か有事が起きた時に素早い対応力を持っている」ことです。当クラブが誕生してから、奉仕事業として募金活動をして参りましたが、特に力を発揮したのは、阪神淡路大震災での物資・炊き出し支援活動です。また、東日本大震災では2日間募金と献血活動を行ないました。

最近では九州北部地方豪雨災害、全ての災害の折、募金活動や救援物資等の活動を行ないました。

何時でもメンバー全員がいち早く活発に積極的に行動を起こします。

“一番誇れることは、「何か有事が起きた時に素早い対応力を持っている」ことです。”

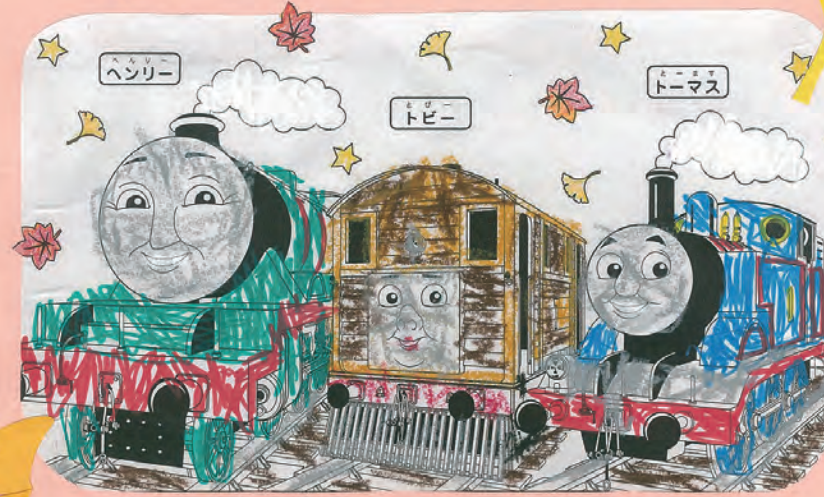


区民祭りでは東北から梨を仕入れ販売し、その売上金を東日本大震災義援金として送金します



災害が起こった時にはすぐ京橋駅で募金活動を行ないます

桜之宮ライオンズクラブの皆様
 楽しいひと時をありがとうございました!!



小児病棟でのトーマス機関車アクティビティ

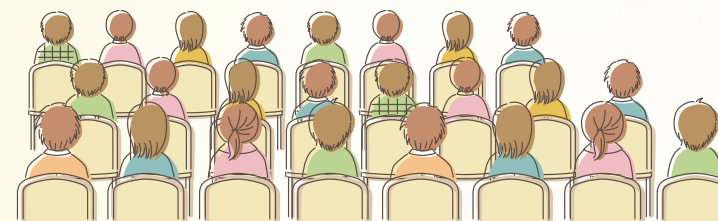


また、小児病棟へ電気機関車トーマス号を持ち込み、入院中の子ども達と触れ合うなど、細やかな事業も展開しております。その他にも障がい者の方々とのふれあいスポーツ大会・ママさんバレーボール大会の支援等々、地域に密着した事業も行なっております。

「何時でもメンバー全員がいち早く活発に積極的に行動を起こします。」

そして、例会にはビジターの方々によくお越し頂きます。当クラブに興味を持って頂くことは大変嬉しく思います。

是非、一度気軽にお越し下さい。
 メンバー一同、大歓迎致します。



入会式では赤い絨毯を敷いて新会員を歓迎致します

私のクラブ③

3R1Z 大阪福島LC

インタビュアー 3R 田中 秀明

クラブ会長：L 西田 朝充ⓐ
クラブ幹事：L 藤 三郎ⓑ
クラブ会計：L 長濱 正直ⓒ

「クラブのメンバーが当クラブの自慢です。」

田中：早速ですが、大阪福島LCの自慢をお願いします!!

西田会長：40代から80代の幅広い世代から成り立っていますが、クラブのメンバーが上下の区別無く、思ったことを自由に発言することが出来る楽しいクラブです。

これは個々が他のメンバーを尊重しかつ尊敬していて初めてできるものだと思います。時には厳しい意見も出て緊張が走ることもありますが、それは皆がクラブのことを思っているからに他なりません。ただし、先ほど述べたように皆が他のメンバーを尊重しているので、常にベストの選択を行なっていると私は思います。例会出席率が高いのはそのためだと思います。メンバー達がどうしても例会に出席できない時は、私に電話をくれ、出席できず申し訳ないとの言葉をくれるのは、皆がクラブを好きなためだと思います。クラブのメンバーが当クラブの自慢です。

田中：大阪福島LCはわかふじ支部もできて若いメンバーが増え、更に活気づきましたよね。



キャンドルアート

田中：ライオンズクラブに対する想いを聞かせて下さい。

西田会長：私の趣味は山歩きで、週末には山へよく出かけます。山頂の景色も素晴らしいのですが、歩いていると、山に咲く花に心癒されます。誰が言ったか忘れてましたが、江戸時代から「吉野の桜、高雄の紅葉、野田の藤」が三大名所であったという事を聞き、地元になんな藤があったのか、また、大阪福島LCがその藤を復活させたこと知り、ライオンズクラブに入会させて頂ききっかけともなりました。入会後にいくつものアクティビティを通じて、奉仕の心を学び、多くの人との出会いを作ってくれたクラブに感謝しています。

田中：**ずばり!!自慢アクティビティは!!**

西田会長：ライオンズクラブに対する思いと重複するところがありますが、「のだふじ」は我がクラブのアクティビティに欠かすことのできないものです。「のだふじ」は、区の花と指定頂いておりますし、花の咲く頃には、スタンプラリー、ライトアップ、のだふじおどり(今年より実行予定)などを催し、区民の皆様はもとより、区役所、公共施設、一部上場企業、中学生(授業の一環)にも参加して頂いております。また、ライオンズクラブ杯と銘打ったソフトボール、キックベースボール大会を主催し、多くの小中学生に参加して頂いております。その他、いくつかのアクティビティを通じて、地域の町おこしとなり、区民の皆様のお役に立っていると自負しております。

福島区の花「のだふじ」に関するアクティビティ、その他のアクティビティを通じて大阪福島LCは今後も区民のために動きます!!



区民まつり参加



大阪福島LC杯ソフトボール、キックベースボール大会



わかふじ支部結成式

私のクラブ④

4R1Z 大阪帝陵LC

インタビュアー 4R 廣瀬 弘二



クラブ会長：L 廣瀬 裕平
クラブ幹事：L 浅川 靖弘
クラブ会計：L 森川 哲郎



また、今年度、特に力を入れている献血活動の実績と予定の説明を廣瀬会長が自らされ、大阪帝塚山LCの年65回、大阪コスモスLCの年50回の計画を超えたいと意気込みを宣言されました。メンバー全員の「個人別献血活動実績記録表」まで作られておりました。

テール・ツイスターの活躍ではメンバー全員のドネーション額とコメントを発表され、更にコメントについてメンバーにマイクを向け、全員にショートスピーチをしてもらうのは面白く盛り上がり、素晴らしいと思いました。

10月3日、天王寺都ホテルで例会をされている大阪帝陵LCに訪問し取材させて頂きました。



大阪帝陵LCの今年度のクラブ三役は、廣瀬会長、浅川幹事、森川会計です。

10月の第1例会（第1279回例会）で私もビジターとして挨拶をさせてもらい、訪問の目的などを説明しました。会員数は現在、一般正会員28名、家族会員12名、不在会員1名の41名です。前年度は臼井RC、今年度は4R1ZZCとしてL東、地区アラート委員としてL中田が地区でご活躍されています。

この日の例会出席者数は21名とメイク・アップ2名で出席率は82.1%、前回は96.4%でした。プログラムには「ライオンズの誓い」の唱和もあり厳粛な例会が行なわれました。

また、国際会長からのモナーク・シェブロンが在籍45年で97才のL藤田と在籍10年で地区アラート委員のL中田へ贈呈されました。

幹事報告、各委員会報告では、10月20日に「たんぼぼ福祉施設」訪問、11月5日に大阪さくらLCと合同でクリーンアップ清掃活動、地区で開催されたクラブLCIFコーディネーター研修会報告とMJF募集、各クラブ献血・糖尿病研修会報告、会員増強チーム5名指名、FWT担当委員指名など次々と報告されました。



例会食の席が廣瀬会長の隣だったので、会長の趣味も聴かせて頂きました。

廣瀬会長は奥様（大阪さくらLCのメンバー）とよくコンサートに行かれるそうで、最近では月1・2回シンフォニーホールとフェスティバルホールに出向かれるそうです。古代史も趣味の1つでゴルフと古墳巡りに2泊3日の小旅行を楽しまれているそうです。

会長テーマ We Serve first

会長テーマ「We Serve first」はトランプ米大統領の「America first」をもじったようですが、方針として「街に出て積極的に全員参加のアクティビティを行なう」「時間と資源を節約し、無駄のない効率の良い運営を心掛ける」など4リジョンの中でも特に素晴らしいクラブだと実感して例会取材訪問を終わらせて頂きました。

例会終了後には11月21日のCN53周年記念式典の打合せを会長、幹事、実行委員長のL畑谷でされておりました。

大阪帝陵LCは今後、益々のご活躍とご発展が期待されます。



クラブアクティビティ

1R1Z 大阪新梅田シティLC

青少年関係アクティビティ

8月17日、児童養護施設の子ども達を京セラドーム大阪に招待し、阪神タイガースの野球観戦アクティビティを実施しました。これは当クラブが毎年実施している継続アクティビティです。メンバーも含めて一緒に応援して盛り上がり、そして子ども達にひと夏の思い出を作ってもらおうという目的です。

当日、メンバーは15時にドーム集合、例会後にお弁当、お茶、観戦グッズをそれぞれ担当の人数分を揃え子ども達の到着を待ちます。16時頃に子ども達が到着すると一緒に記念撮影をし指定席へ案内しました。記念撮影の段階ですでに興奮気味の子どもの姿も見られます。試合が始まるまで各チームの練習風景を観戦します。お弁当を食べ、いざ応援準備万全。試合が始まると白熱したムードの中メガホンを

たたいての大応援となりました。

やはり一番の盛り上がりは阪神タイガース7回裏の攻撃前の風船飛ばしです。球場一面にジェット風船が飛び交います。

参加されたどの子ども達も興奮気味に風船を飛ばし、どの顔も笑顔で風船を飛ばしていたのが印象的でした。また来年も一緒に飛ばそうね・・・と心に誓い試合終了！試合結果も阪神タイガースが9回サヨナラ勝ちという最高の真夏の日でした。

この社会福祉活動例会がこれからも続けられるよう、当クラブメンバーも力を合わせて活動していきます。

1R2Z 大阪西LC

青少年関係アクティビティ

8月19日、びわこ青少年の家の体育館で出張環境教育講習及び薬物乱用防止教室を開催しました。

国際平和ポスター・コンテストなどでお世話になっていた小学校が児童減少で統廃合され、当クラブで地元のこども達と接するアクティビティができないものかと思案していたところ、メンバーの小学生の長女が通所している学童保育所のキャンプがあると聞き、安岡会長・西島幹事が子ども達への直接のアクティビティとして、環境教育と薬物防止教室を開催する旨を当クラブへ提案し開催決定の運びとなりました。

大阪市住吉区学童連盟所属のいるか学童クラブ、ひまわり学童クラブの合同親子キャンプがびわこ青少年の家で18日から20日まで2泊3日で開催されていたところ、我々の日帰り出張講習会を体育館で開催しました。当クラブからは、三役と他3名が参加、講習会には、児童約40名とその保護者数名が参加しました。

15:30分より16:10分頃まで、毎年植樹でお世話になっている日本熊森協会の山本沙耶氏他同協会滋賀支部の3名の会員さんが、琵琶湖の水を守るため琵琶湖周辺の奥山にある広葉樹の森の大切さを、熊を中心とした森の動物が語る紙芝居や人形劇を交えて、小学生低学年にも分かるように講習して頂きました。小学生たちも、大阪市の水道水は琵琶湖から淀川を経ていることと、琵琶湖の水が周辺の山から河川や地下水脈から来ていて、その山の環境が大事な事を学んでくれたようです。



10分程の休憩を挟み、薬物乱用防止講師のライセンス保持者の当クラブ安岡会長と浅井が中心となって薬物乱用防止教室を始めましたが、児童たちは朝から自炊や水泳、西瓜割り大会や高学年はヨット操船講習など、多様で過密なスケジュールをこなしていたこと、当クラブで初めての教室開催という未熟さも重なり、「あやしいラムネ菓子」の紙芝居をスライド化して投影して、主人公を両学童の卒所した女子中学生3人に分担して手伝ってもらって児童の関心を引いたり、関連資料を投影して色々説明したまでは良かったのですが、どこまで児童たちに訴求できたのか不安でした。

翌日8月20日、児童たちがキャンプを終え、大阪市立墨江丘中学校前の最終解散場所で児童たちに会って、「おかしな薬物は？」と声をかけたところ、皆が揃って大声で、「ダメ。ゼッタイ。」と返してくれました。こちらは少し安堵しましたが、心の中で、「次に下手くそな講習はダメ。ゼッタイ。」と叫んだのでした。

1R2Z 大阪堂島LC

青少年関係アクティビティ

8月4日、児童福祉施設の子ども達と京セラドームでの阪神タイガースVSヤクルトスワローズ戦の観戦をしました。結果は、3-0で阪神タイガースの勝利！息詰まる投手戦でしたが、緊迫した試合でした。

これに対し、施設の園児達からのお礼のお手紙を頂きました。読んでいてとても幸せな気持ちになり、むしろ我々の方が園児達に対して「こちらこそ楽しい時間をありがとう！」と心から言いたくなるようなアクティビティでした。



7R1Z 堺浜寺LC

青少年関係アクティビティ



もらえたように思います。

天に大きく広がる花火は、視覚や聴覚に訴えかけるものも少なくないのか、子どもながらに抱える悩みの発散や、皆で花火を見ることでコミュニケーションが活性化され、一体感を感じやすくなったり、今後のモチベーションアップに繋がることを期待しています。

また、当日の集合場所から観覧場所、そして解散場所まで集団で移動をし、事故など問題もなく行なうことができました。花火の観覧を通して集団行動をすることができ、協調性あふれる人に育ってほしいなと感じました。

7月31日、児童養護施設「愛育社」の子ども達と堺旧港の「堺大魚夜市」で行なわれる花火大会の観覧やステージの催し物の見学を行いました。

このアクティビティは継続的事业で青少年達の豊かな感性を養うとともに将来につながる社会経験の寄与など、彼らの総合的な育成を目的にしています。

子ども達は日常生活からかけ離れた“打ち上げ花火”の様子を間近で体感することで、目を輝かせながら楽しんで



1R2Z 大阪天神橋LC

環境保全アクティビティ



ペットボトルキャップで環境保全! 世界の子供達へワクチンを! 障がい者の方の仕事!

私達、大阪天神橋LCは、環境保全活動の1つとしてエコキャップの収集をしております。クラブメンバーや、友人知人などの関係者、メンバーの立ち寄り先のガソリンスタンド等にも呼びかけをしております。

1つ1つは小さなものですが、小さな積み重ねが大切と思っております。捨ててしまえば「ただのゴミ」集めれば「小さなボランティア」になります。

持ち込み先は、大阪はなみずきLCに教えて頂いた、梱包の必要や洗浄の必要のない大阪市立中央授産場です。今後もこのアクティビティを続けていきたいです。

10R2Z 新宮LC

献血アクティビティ



8月25日、新宮市福祉センター前にて今年度初の献血奉仕を行ないました。このところ新宮では37度超えの猛暑が続いていたので、どれくらいの人に来てもらえるのか少し心配していました。

随分前の話らしいですが、献血の受付場所は年中、福祉センターの外にあったそうです。夏は日陰を作り、冬は屋外用の暖房器具を置いていたそうです。

今は、中の部屋を借りて順番を待つ間も快適に過ごせるようになっています。そのおかげもあってか、暑い午前中は50名、午後からは45名の合計95名の方にきて頂きました。400ml献血にご協力頂いた方には5箱セットのティッシュペーパーを2つ、200ml献血及び採血できなかった方には1つお渡ししています。残念ながら、検査の結果採血できなかった方も数名いらっしゃいましたが、この暑い季節を思うと、まずまずの結果ではないでしょうか。

新宮LCでは今年度、福祉センターで5回、県立新宮高等学校で1回、合計6回の献血を予定しています。

9・10R 和歌山葵LC・串本LC合同

環境保全アクティビティ



う作業を進めていきました。タイヤ、テレビ、カゴ、ロープなどを回収する事が出来ました。

今回、実施して気づいた事を今後、改善しながら第2回目、第3回目につなげていきたいと思っております。

第1回 和歌山葵LC・串本LC合同 環境保全アクティビティ

2年前に「和歌山葵LCダイビング」を発足し、それを活かした新しいアクティビティに取り組みたいと検討してきました。

2017年3月10日に開催された9R・10R交流会『つれもていこら和歌山』で串本LCメンバーと海中清掃についてお話させて頂き、串本LCのご協力のもと、本年8月20日、第1回串本LC・和歌山葵LC合同環境保全アクティビティとして須賀漁港内の海中清掃を実施する事が出来ました。海中班が見つけて集めたゴミをロープにくくり陸上班が引き上げる、人の力で無理な物はクレーン車で引き上げるという作業を進めていきました。



クラブ例会

1R2Z 大阪天神橋LC

納涼家族例会

私達、大阪天神橋LCは夏の恒例行事として、ご家族、知人友人たちとの交流を深めるために愉しく納涼家族例会を行なっております。今年も帝国ホテル大阪「パイシーズ」にて行ないました。

例会後のお楽しみ、今年は桂三金様の愉快な話芸、子ども達に楽しく語りかけながらのバルーン作成でした。何を作って欲しいか等希望を聞き、作ってもらった時の笑顔がとっても良かったです。

何が当たるかわくわくする外れなしラッキーくじの子どもだけの抽選会。大人も子どもも全員参加のじゃんけん大会と盛りだくさんの内容の例会となりました。ラッキー賞品の購入には頭を悩ませますが、毎回喜んで頂けて嬉しいです。



ヤッター!!次はだれに何が当たるでしょうか?



子ども達だけの抽選会 何が当たるかドキドキ



全員参加のじゃんけん大会です



子どもも輪に入り「また会う日まで」!

3R2Z 大阪浪速LC

地域にPR

難波八阪神社 船渡御神事

7月13日、道頓堀にて開催される難波八阪神社船渡御神事に参加しました。難波八阪神社船渡御神事は古く、江戸時代には天神祭の時に大阪天満宮と並んで挙行されましたが江戸中期で途絶え、平成に入り、氏子衆や地域企業や団体で斎行されました。今年度に入り一隻の空きが出来、地域に花咲いた船渡御にライオンズクラブの存在をPRし参加区民の方々と親密に交流できる機会と確信を持ち、参加に至りました。

この行事は新聞・テレビ・YouTubeで報道され、総数22隻からなる船渡御船団乗員600名で執り行なわれ、夜の川面を賑わせました。我がクラブが船渡御に初参加を果たし、地域の方々、他地区、また海外の方々とお交えて親交を深め「ライオンズクラブここに有り」と道頓堀の両岸を埋め尽くしました。

諸外国の観光客や見学者との間で、大阪名物・一本締を繰り返し行ない欢声が上がり、親しい交流が出来たことを誇りに出来ました。外国人の方々から「ライオンズNo.1!ライオンズワンダフル!ベリーグッド!との声も多く掛けて頂き、ライオンズは国際的だと再認識をすると共に他の観光客や一般の方々にもPRが出来たと思っております。

また、供奉船に乗船して頂いた40数名全員が夏の風物詩としての船渡御神事に感銘を受け、来年もチャレンジしたいと申し入れをして頂いており、地域密着したライオンズのPRと懇親並びに奉仕活動が出来ると効果大であると自慢出来る事業と思っております。

7R3Z 和泉大阪LC

クリーンアップ・アクティビティ例会

9月14日、第1292回例会をアクティビティ例会とし、和泉市で一番人通り、車通りの多い場所はゴミもたくさんあるはず!!と正に「泉北高速鉄道、和泉中央駅 ヤマダ電機付近」を清掃ポイントとし、クリーンアップ活動を実施しました。当日は当クラブメンバー他、泉大津LCより1名、いずみそれいゆLCより2名、和泉中央LCより1名の方々にもご協力も頂き、1時間みっちり清掃活動をしました。

クラブとして初めて清掃を行なった場所でしたが、地域への良いPRにもなりましたし、季節から街路樹の落ち葉が満溝を塞いでいたのでこれを重点的に取り除き、昨今のゲリラ豪雨の排水の妨げを取り除けたと思います。

今期当クラブは、毎月アクティビティを実施し、体で奉仕!!を積極的に行なっていく予定です。今回、新会員の方にも参加してもらい、ライオンズクラブ活動の意義を体感してもらえたのが一番嬉しい事でありました。

今後も部屋の中での寄贈ではなく、街に出での活動を頑張っていきたいと思っております。

